

CUBAPON ニュース

日本キューバ連帯委員会

<http://ifcc.jp/cubapon.htm> 郵便振込口座 00170-2-195919

NO32
2008
7月

東京都新宿区山吹町333
辻ビル405 IFCC気付
TEL: 03-3268-4387
FAX: 03-3268-6079
E-mail: jvccpf@mail.plala.or.jp

- ◆4月25日から『米つくり支援のためのキューバ農業視察団』が、君島一宇 CUBAPON 代表委員を団長に総勢8人で出かけました。同訪問団はまた、従来の友好訪問団の目的も併せ持て、日本人移住110年を記念して日系人が多く住む『青年の島』を訪れ日系人を慰問しました。
- ◆5月にアレイダ・ゲバラさんが来日し CUBAPON も連帯の行事に賛同してて多彩に行われました。
- ◆6月14日から15日、キューバ連帯第4回アジアパシフィック地区会議がスリランカのコロンボで開催され、CUBAPON-J の能村綾・代表幹事を派遣しました。**15人の方から43000円の協力をいただきました。紙上をお借りし御礼申し上げます。当該の方には、別途と会議資料をお送りいたします。**
- ◆「08会員登録」のため振込用紙を同封させていただいておりますが、過日のカンパ要請のための振込用紙を「08会費」のためのものと混同された方がおられたかもしれませんし、また、すでに「08会費」をお振込み戴いている方もおられますが、その場合、ご容赦ください。

第4回 アジア・パシフィック地区 キューバ連帯会議 ～報告レポート～

能村 綾 CUBAPON-J 代表幹事

第4回目となるこの会議は、2008年6月14日、15日と、スリランカ民主社会主義共和国のコロンボで開催された。スリランカとは、現地語で「光り輝く島」という意味だそうだ。日本の北海道くらいの大きさしかない小さな国は、かつて「セイロン」と呼ばれ、セイロン紅茶とアーユルベーダの聖地として名をはせている。

毎週のように、コロンボ各地、近郊都市ではテロ行為、自爆テロなどが起きており、現在大変な厳戒体制下にあるが、今回の参加国は、18カ国で、206の団体がやってきていた。

日本人はCUBAPON-JとPeace Boatからのみの参加となった。

滞在先のホテルは政府の「ハイセキュリティエリア」内にあり、その地区に出入りするには5回の検問と、装甲車、兵隊の中を通り抜けないといけない。

町中には兵士が闊歩し、装甲車は常に待機。

兵士の簡易陣営には、たくさんのバリケードと砂袋が積んであった。

もちろんこのエリアは撮影禁止で、カメラをカバンから出すことさえ許されなかった。

この時期スリランカは、モンスーンの季節で、幸い雨は降らなかったものの、連日38℃近くあり、ものすごい湿気と熱気で、エアコンのほとんどきかない会場は、サウナのようだった。

予定より遅れて、スリランカ人の司会者が登場し、参加者約300人と代表者たちは一斉に起立した。

するとスリランカの国歌が流れ、参加者の3分の2をしめる地元スリランカからの参加者たちが、歌い始めた。

そして続いて、キューバの国歌。

しかし、ここはスリランカ・・・さびの部分のちょうどいいところで、テープがブチッと切れ、5分くらい中断。

やっと直ったという事で、再びキューバの国歌が流れたが、また途中でブチッと切れてしまった。

に分かれての参加キューバ人とスリランカ人は大爆笑で、在スリランカのキューバ大使（女性）がいきなりアカペラでキューバ国歌を熱唱しだした。

会場となったホテルロビー

それにつられるように会場内は団結し、全員でアカペラでキューバ国歌を歌い終えたのだ。

<会議スケジュール>

6月14日

8:00 代表団の登録会、会議場への移動

9:00 オープニングセレモニー開催～歓迎のスリランカダンスなど～

9:30 スリランカの伝統的なキャンドル点灯の儀式、スリランカ&キューバの国歌を歌う

10:00 キューバ代表団のスピーチ



10:15 各国からの代表団のスピーチ
(Cubapon-jもしました！)
12:00 ゲバラに捧げるVTR放映
13:00 ランチ
15:00 午後の部は2グループに分かれての参加
A部・・・メディアのための質疑応答コーナー
B部・・・革命政権樹立50周年によせて
18:00 終了→ホテルへ
19:00 カクテルパーティー (懇親会)

< 参 加 国 リ ス ト >

スリランカ、インド、中国、韓国&北朝鮮、マレーシア、
タイ、ミャンマー、フィリピン、バングラディッシュ、
ベトナム、インドネシア、ラオス、ネパール、カンボジ
ア、ニュージーランド、オーストラリア、キューバ、日
本

6月15日

8:00 ホテル出発
9:00 会議場到着し、昨日に引き続き2グループに
分かれての参加
A部・・・メディアのための質疑応答コーナー
B部・・・革命政権樹立50周年によせて
12:00 ランチ
14:00 パブリックミーティング
16:00 スリランカ内キューバ連帯団体への賞状授
与式、閉会の挨拶、スリランカダンス
19:00 ホテルへ
20:00 夕食



能村さん(左から2人目)と会議参加者

開催日初日の14日は、チェゲバラの誕生日という事もあり、スリランカの代表演説者から祝いの言葉があり、今回は特別にゲバラに捧げるVTRを見る時間を設けようと思った。

ゲバラは1959年8月8日に、ここスリランカを訪問したこともあり、スリランカとキューバは友好関係が続いている。

ここで、ひとつ、ゲバラに関する面白いエピソードがあるので紹介したい。

ゲバラがスリランカを訪れたとき、スリランカ人のある記者が彼に訊ねた。「あなたは、エコノミストなんですか？」するとゲバラは、記者をみつめ、こう言った。

「いや、僕はエコノミストじゃない、コミュニストだよ」。

スリランカは国の名前に、社会主義とついているが、実際には社会主義国家ではないのが現実らしい。

スリランカに数ある共産主義、社会主義政治グループの中でも大きなのが2つあり、1つはJVD、そしてもうひとつがMEPという。

そのMEPのリーダーとCubapon-jはインタビューをした。

MEPとは、Mahajana Eksath Peramunaというグループ名の頭文字で、現在はかなり青年部も活発に活動しているらしい。

1965年に創立された社会主義グループで、マルクスレーニン主義者たちが集まる。

最近の活動では、今年の6月11日にコロombo市内で、「ガソリンや生活用品の値上げ」に反対して、デモをした。

このMEPのメンバーは、日本にも住んでおり、日本のグループとも活動しているそうだ。

現大統領は右派で、アメリカの支援を多大に受けた政府なので、その影響で政府に反対したグループ、民族等のデモ、テロ行為が続いているという・・・。

また、影で支援しているのはアメリカのみならず、ノルウェーも支援を始めたらしい。

その目的は・・・？

第2部では、私は「革命政権樹立50周年によせて」ではなく、「メディア向け質疑応答」コーナーの部に参加した。そちらでは、スリランカ人、インド人から活発な意見交換、質問が飛び、かなり内容の濃いものとなった。

驚いたことに、現地のスリランカ人は母国語のシンハラ語か英語しか話せない人ばかりだったが、他の国からの参加者との共通語はなんと英語ではなく、スペイン語だったのだ。

なので、私も中国人、オーストラリア人、北朝鮮人、ベトナム人などとスペイン語で会話をし、なんとも不思議な感覚だった。

みな、キューバで働いていたり、語学留学に行ったり、奥さんがキューバ人、など、キューバとのかかわりが本当に多かった。

もちろん、もうひとつの日本からの参加グループのPeace Boatの女性もスペイン語ペラペラ。船で寄航する際、中南米担当者なんだそうだ。

最終日のまとめでは、キューバをたたえ、実際の具体的な数字をあげ、討議した。

以上